



第**67**期 株主の皆様へ
2015年1月1日 ▶ 2015年12月31日

日本で一番質の高い
“食” & “ホスピタリティ” グループへ



ROYAL
ロイヤルホールディングス株式会社

証券コード ● 8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、

- 一、食品は美味しくなければならない。
- 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
- 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。

以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

平成27年度は、おかげさまで30年ぶりの4期連続で増収増益を果たすことができました。平成26年11月に策定した中期経営計画「Fly to 2017」の初年度として、「付加価値向上」「新規市場開拓」「効率性向上」という3つの視点から生産性の向上を図るとともに顧客満足度の向上を図るべく、各種経営施策を着実に推進してまいりました。

当社では、株主の皆様への長期的かつ安定的な配当を株主還元の基本方針としており、内部留保資金を確保しつつ、業績と連動した株主配当を継続的に実施してまいります。この方針のもと、平成27年度の1株当たりの年間配当金は前期に対して4円の増配となる20円にいたしました。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、企業収益と賃金・雇用環境の改善が続くなか、訪日外国人による消費が拡大するなど引き続き緩やかな景気回復基調にあるものの、生活物価の上昇等により消費者の生活防衛意識が高まりを見せていることや、円安による原材料費等の上昇や人件費の上昇といった主要コストが高止まりするなど、経営環境は一層厳しさを増しております。

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実の観点から監査等委員会設置会社へ移行するとともに代表取締役を会長(兼)CEOと社長(兼)COOの2名体制とすることで、目まぐるしい業務環境変化への機動的な対応と多元化する経営課題に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

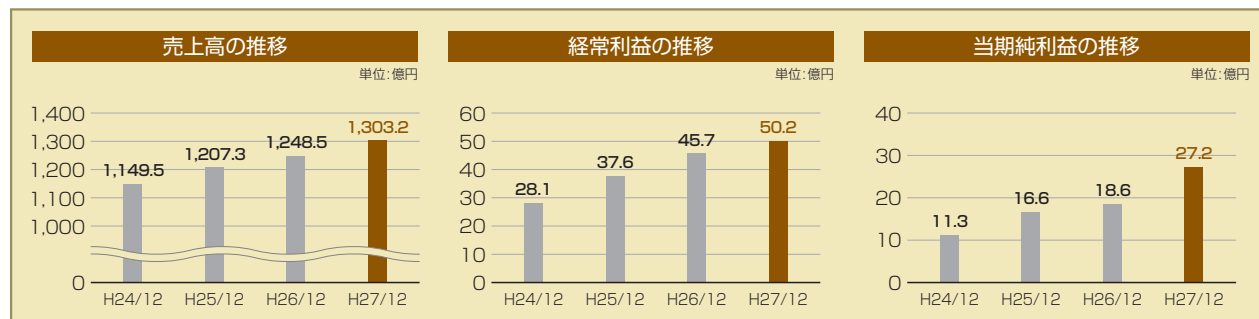
平成28年3月

代表取締役会長(兼)CEO 菊地 唯夫
 代表取締役社長(兼)COO 黒須 康宏



菊地 唯夫 黒須 康宏

連結決算ハイライト



当社グループでは、今後見込まれる経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、平成26年11月に持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2017」を策定いたしました。

この中期経営計画は、時代変化を十分に踏まえたホスピタリティビジネスの産業化を目指すものであり、その初年度にあたる平成27年度におきましては、当社グループが有する多様な事業において、それぞれの強みと事業環境を踏まえ、「付加価値向上」「新規市場開拓」「効率性向上」という3つの視点から生産性の向上を図ると同時に顧客満足度の向上を図るべく、各種営業施策を着実に進めてまいりました。

た。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は130,327百万円（前年同期比+4.4%）、営業利益は4,899百万円（前年同期比+10.9%）、経常利益は5,021百万円（前年同期比+9.7%）となり、いずれも前連結会計年度を上回ることができました。また、特別損益として投資有価証券売却益287百万円および受取補償金255百万円を特別利益に、固定資産除売却損333百万円および固定資産の減損損失277百万円など総額634百万円を特別損失に計上したほか、法人税等2,007百万円を計上し、当連結会計年度の当期純利益は2,728百万円（前年同期比+46.2%）となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 62,892百万円

- 業態転換・国内外フランチャイズを含めて43店舗を出店
- 「ロイヤルホスト」は、既存店舗への追加投資を継続するとともに、日本各地の美味しい食材をロイヤルホストの商品開発力と調理力で提供する“Good JAPAN”をテーマとしたフェアを実施
- 「天丼てんや」は、国内外フランチャイズを含め26店舗を出店。また既存店への追加投資を進めるとともに、旬の食材を楽しめる商品を投入するなど顧客満足度の向上を図り、平成24年度から4年連続で既存店100%超を達成

コントラクト事業

売上高 32,990百万円

- 法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設、オフィスビル、医療介護施設等において多種多様な飲食施設を展開
- 古賀SA・上里SA等の一部の高速道路店において大型改装を実施
- 空港ラウンジ等、前期より営業受託した店舗による増収増益効果と、空港ターミナルビル店舗など既存店舗の利用者増加による売上増加

機内食事業

売上高 8,146百万円

- 東南アジアを中心とした訪日外国人の増加により、搭乗客数が増加
- 一部受託路線の運休や契約内容の変更により減収
- 7月に沖縄那覇空港の機内食工場が稼働

ホテル事業

売上高 22,246百万円

- 12月に「リッチモンドホテルプレミア東京押上」、「リッチモンドホテルプレミア浅草インターナショナル」を開業
- 既存ホテルの客室稼働率と客室単価が上昇したことや前期に開業したホテルの売上が好調に推移

食品事業

売上高 10,231百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外企業向け製品を製造
- 外食事業を中心としたグループ内向け食品製造が増加

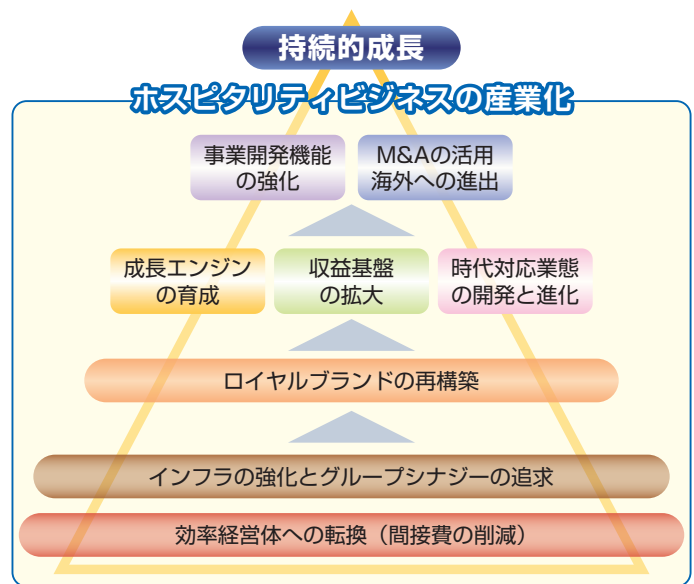
(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

中期経営計画「Fly to 2017」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において『「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にしなやかに対応する日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループを目指す』というグループビジョンを掲げております。

平成27年度よりスタートいたしました中期経営計画「Fly to 2017」では、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の第二段階と位置付け、「ホスピタリティビジネスの産業化」を柱として、グループ各事業の事業特性を踏まえた生産性(付加価値、新規市場、効率性)向上の取り組みを推進し、持続的成長を目指してまいります。

〔基本方針と戦略骨子〕



「2015年オリコン日本顧客満足度アワード」第1位受賞

オリコン日本顧客満足度フードサービスランキング・洋風ファミリーレストラン部門において、ロイヤルホストが第1位を受賞しました。過去1年以内に洋風ファミリーレストランを利用したことがある10代以上の消費者アンケートをもとに選ばれました。

ロイヤルホストは、お客様に食を通じて楽しいひとときを過ごしていただける地域に愛されるレストランを目指してまいります。



リッチモンドホテル「J.D.パワーアジア・パシフィック2015年日本ホテル宿泊客満足度調査」1泊9,000円～15,000円未満部門 第1位受賞

16企業・ブランドの中で、「チェックイン・チェックアウト」「客室」「ホテル設備」「F&B(料飲部門)」「ホテルサービス」「予約」において、リッチモンドホテルがトップの評価をいただきました。この部門において、2006年から2013年まで8年連続第1位に続き、今回で9回目の受賞となりました。



リッチモンドホテルプレミアの展開

昨年12月に、リッチモンドホテルプレミア東京押上とリッチモンドホテルプレミア浅草インターナショナルを、それぞれ開業いたしました。

プレミアブランドのホテルは、神奈川県武蔵小杉、宮城県仙台駅前が続く開業となります。

リッチモンドホテルプレミア東京押上には、シズラー10号店となる押上店もホテル内レストランとして出店しました。

リッチモンドホテルは時代に対応しながら、これからもお客様に支持していただけるサービスを提供し、「ひとと自然にやさしい、常にお客様のために進化しつづけるホテル」を目指してまいります。



● 東京押上



● シズラー押上



● 浅草インターナショナル

フローズンヨーグルト専門店「pinkberry (ピンクベリー)」の出店

pinkberryは、昨年7月にユニバーサルスタジオジャパンに隣接するホテル内にザ・パークフロントホテル店を関西地区として初出店しました。2014年7月、東京お台場に1号店を出店以降、福岡の大濠公園店、天神店に続く4号店となります。また、11月には、ららぽーとエキスポシティ店(大阪)、12月には、ららぽーと立川立飛店(東京)と続々とオープンしています。

pinkberryは、世界23ヶ国に展開しており、無脂肪牛乳・無脂肪ヨーグルトを使った爽やかな酸味と甘みが楽しめるフローズンヨーグルトと多彩なトッピングが特長のフローズンヨーグルトショップです。



● ららぽーとエキスポシティ



● ららぽーと立川立飛

■ 連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前期末	当期末	
	H26.12.31 現在	H27.12.31 現在	
資産の部	流動資産	16,755	17,429
	固定資産	65,160	73,483
	有形固定資産	38,303	46,649
	無形固定資産	697	619
	投資その他の資産	26,159	26,213
資産合計	81,916	90,912	
負債及び純資産の部	流動負債	16,531	17,254
	固定負債	20,796	27,023
	負債合計	37,327	44,278
	株主資本	42,497	43,688
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,918	23,499
	利益剰余金	7,839	9,740
	自己株式	△ 2,936	△ 3,227
	その他の包括利益累計額	1,407	2,157
	少数株主持分	684	787
	純資産合計	44,588	46,634
負債・純資産合計	81,916	90,912	

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前 期	当 期
	H26.1.1 ▶ H26.12.31	H27.1.1 ▶ H27.12.31
売上高	122,152	127,159
売上原価	39,697	41,698
売上総利益	82,455	85,461
その他の営業収入	2,704	3,168
営業総利益	85,159	88,629
販売費及び一般管理費	80,741	83,729
営業利益	4,417	4,899
営業外収益	676	658
営業外費用	514	536
経常利益	4,579	5,021
特別利益	85	513
特別損失	782	634
税金等調整前当期純利益	3,882	4,900
法人税等合計	1,903	2,007
少数株主利益	112	164
当期純利益	1,866	2,728

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当 期 H27.1.1 ▶ H27.12.31	株主資本					その他の包括利益累計額 そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	13,676	23,918	7,839	△ 2,936	42,497	1,407	684	44,588
剰余金の配当	—	—	△ 627	—	△ 627	—	—	△ 627
当期純利益	—	—	2,728	—	2,728	—	—	2,728
自己株式の取得	—	—	—	△ 710	△ 710	—	—	△ 710
自己株式の処分	—	—	—	0	0	—	—	0
自己株式の消却	—	△ 419	—	419	—	—	—	—
持分法の適用範囲の変動	—	—	△ 199	—	△ 199	—	—	△ 199
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	750	103	853
当期変動額合計	—	△ 419	1,901	△ 290	1,191	750	103	2,045
当期末残高	13,676	23,499	9,740	△ 3,227	43,688	2,157	787	46,634

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	H26.1.1 ▶ H26.12.31	H27.1.1 ▶ H27.12.31
営業活動による キャッシュ・フロー	8,206	8,179
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,931	△ 5,081
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,395	△ 3,366
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 120	△ 268
現金及び現金同等物の 期首残高	4,857	4,736
現金及び現金同等物の 期末残高	4,736	4,467

<参考>事業セグメント別売上高、経常利益

当 期 H27.1.1 ▶ H27.12.31	売上高		
	金額	構成比	前年同期比
	百万円	%	%
外食事業	62,892	44.7	2.7
コントラクト事業	32,990	23.4	4.7
機内食事業	8,146	5.8	△ 1.7
ホテル事業	22,246	15.8	10.3
食品事業	10,231	7.3	5.3
その他の事業	4,286	3.0	8.5
小計	140,794	100.0	4.4
全社部門	—	—	—
相殺消去	△ 10,466	—	—
合計	130,327	—	4.4

当 期 H27.1.1 ▶ H27.12.31	経常利益		
	金額	構成比	前年同期比
	百万円	%	%
外食事業	3,112	36.6	3.9
コントラクト事業	1,107	13.0	1.3
機内食事業	410	4.8	△ 35.5
ホテル事業	3,404	40.1	26.0
食品事業	259	3.1	△ 32.6
その他の事業	201	2.4	△ 24.3
小計	8,496	100.0	5.2
全社部門	△ 3,474	—	—
相殺消去	—	—	—
合計	5,021	—	9.7

(注) 売上高には、その他の営業収入を含めております。

会社の概況

● 会社概要 (平成27年12月31日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,538名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成28年3月29日現在)

取締役

代表取締役会長(兼)CEO	菊 地 唯 夫
代表取締役社長(兼)COO	黒 須 康 宏
専 務 取 締 役	矢 崎 精 二
常 務 取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡 理
取 締 役 相 談 役	富 永 真 理

監査等委員

常 勤 監 査 等 委 員	浦 一 馬
監査等委員 (社外取締役)	久保田 康 史
監査等委員 (社外取締役)	渡 辺 佳 夫
監査等委員 (社外取締役)	高 峰 正 雄

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」をご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成27年12月31日現在

Shareholders Information

株式の状況

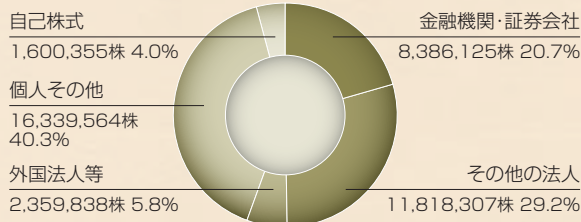
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,504,189株
単元株式数	100株
株主数	20,367名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	2,874	7.39
公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	2,452	6.30
株式会社ダスキン	1,400	3.60
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.47
株式会社西日本シティ銀行	955	2.46
株式会社福岡銀行	833	2.14
日本生命保険相互会社	803	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	741	1.91
ハンナン株式会社	692	1.78
株式会社三越伊勢丹	681	1.75

(注) 当社は、自己株式1,600千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.royal-holdings.co.jp/)
上場取引所	東京証券取引所第一部 福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています